

おだわら市民交流センターUMECO指定管理者自己評価表（令和6年度分）

【機能の達成状況】

低い 高い
評価点・・・ 1 2 3 4 5

名称		評価点	評価の理由
拠点機能		4	企画展・アクティブサロンへ多くの登録団体の参加を募り、各団体の活動状況等の発表の場を提供すること等、UMECOの機能を活用し市民活動（団体）の発展につなげた。
相談・支援機能		3	スタッフの内外研修をすすめ、ボランティア相談業務へのレベルアップを図った。相談日を設定することで専門的な相談に対応できるよう改善した。団体登録更新手続きに際しオンライン申請を引き続き展開した。
協働支援機能		3	企業とのネットワークについては、従前の企業との協働事業を予定通り実施できたが、新たなつながりを見出すことはできなかった。HELLO！UMECO（第3版）を発行して地域活動団体等に配布し地域とのネットワークを進め、登録団体が放課後子ども教室等に参加した。
学習・体験機能		4	夏休みボランティア体験学習に向けて高校への出張講座を実施したことで、多くの参加応募があった。近隣の大学の新入生課外実習において、ボランティア活動やUMECOの紹介を実施することや、市民活動入門講座を活用し、若者の市民活動への関心の拡大につなげた。
交流・コーディネート機能		5	神奈川県と共催によるパートナーシップミーティング in 県西（2年目）を、南足柄市と大井町の協力を得て開催し、多様な団体の参加を得て活発な交流会となった。また、UMECO祭りには多くの市民の来館があり、新春交流会には多くの団体が参加し交流につなげた。
情報の集約・発信機能		5	スマホからの閲覧し易さを主にホームページの改修を検討し、令和7年4月1日より公開した。また、情報誌（UMECOだより）の内容を見直し、団体情報の拡充を行うことで団体の活動支援を行った。
その他	男女共同参画	3	市人権・男女共同参画課と協働で計画通りに事業を実施し、また独自に企画展示（アウェアネスリボン展）を開催することで、市民の方の意識向上につなげた。
	国際交流	4	市文化政策課と協働で「国際交流フェスタ」を開催し、市民活動登録団体も含めた国際交流団体と市民の方たちとの交流を進めた。また、次年度以降の事業展開に向け外国籍の方の交流の場を月に1回試行的に開催した。

【コンセプトの達成状況】

名称	評価点	評価の理由
誰でも気軽に つながりを生み出す きっかけの場	5	UMECO企画展等の事業、情報誌（UMECOだより）への団体事業欄等で、登録団体の活動を発表・紹介することで、事業に接した方たちの関心を高めることができ、団体（事業）に関する問合せが増え参加へつながった。夏休みボランティアに高校生の参加が増え、パートナーシップミーティングに高校生が個人で参加する等関心が深まった。
シェアしながら それぞれの思いがつながる 行動の場	4	多様な市民の方々を対象に各種交流会を開催し、交流の場を広げることで協働連携の始まりとした。市民活動団体に情報紙「UMECOだより」への投稿やFMおだわらへの出演を紹介・勧誘することで団体情報の拡充につなげた。

地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる 実現の場	4	パートナーシップミーティングを南足柄市と大井町の協力を得て開催することで、市民活動団体と多様な主体との協働・連携を促進した。また、HELLO! UMECO（第3版）を発行し関連団体等に配布することで、市民活動団体と地域活動団体とのつながりの基盤とした。
------------------------------------	---	--

【その他】

評価項目	評価点	評価の理由（評価点を2又は4とした場合で特別な理由があるとき、1又は5とした場合に記載）
センターの使用許可	4	・会議室については、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更されて以降、使用方法の制限がなくなったこともあり、稼働率は上昇を続け、実際の年間使用コマ数は開設以来最高であったことから、施設利用に関する評価については満足できるものとする。また、UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケートの結果、スタッフの挨拶や言葉遣い、説明・対応については約74%の方が「満足」と回答された点は評価できると考える。これらを総合的に勘案し「4」とした ・市民活動プラザについては、稼働率は上がってきているものの、更なる向上の余地がある点はマイナス評価と考え「3」とした。
・会議室の許可等	4	
・市民活動プラザの許可等	3	
センターの維持管理	4	・UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケートの結果、9つある設問項目中、館内清掃（整理整頓）については最高値の88%の方が「満足」と回答されたことから「清掃業務」を「5」とした。 ・建築後9年余が経過し、設備・備品等の経年劣化が目につくようになってきている中で、適宜、修繕や部品交換などを行うことにより利用者サービスの維持向上に努めている。こうした取組が奏功し、UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケートの結果では「設備・備品」について74%の方が「満足」と回答された点は評価できると考える ・その他の項目については適切に管理できており、不具合によって事故やトラブルが発生することはなかったことから「4」とした。
・印刷機の維持管理	4	
・清掃業務	5	
・建築設備の保守管理	4	
・備品等保守管理	4	
・防火管理業務	4	
事業計画・報告等に関する業務	3	・事業計画書の作成・提出等の業務については、おだわら市民交流センターの管理運営に関する基本協定書に基づいて遺漏なく遂行できたことから「3」とした。
・事業計画書及び収支予算書等の作成提出	3	
・事業報告書の作成及び提出	3	
事業評価に関する業務	4	・UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケート調査を行い、利用者の意見や要望の収集等に努めるとともに、いただいた意見・要望のうち対応可能な事項、例えば会議室を利用する際、通りに面した窓に活動内容を書いたポスターを掲出し、活動内容を周知することを認めるなど、速やかに実行に移した。これらを総合的に勘案し「利用者の意見・要望の収集」については「4」とした。「利用者会議の開催」については令和5年度に開催できなかったことを反省し、年度当初から準備を進め、予定どおり3回開催し、各回において活発な意見交換を行うことができたことから、「4」とした。 ・市地域政策課と毎月1回の定例会議を実施し、利用の状況や施設設備に係る課題の共有等が適切に図られたことから「4」とした。
・履行状況の報告	3	
・利用者の意見、要望の収集	4	
・利用者会議の実施	4	
・市との定例会議の開催	4	

施設利用者の安全管理及び危機管理	4	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたが、引き続き利用者の感染防止のため、アルコール消毒対応や室内換気に取り組んだ。また、風水害時における一時避難所開設・運営マニュアル及び災害時における一時避難所開設を行ったことから「4」とした。
市主催事業等への協力	4	・市による特別先行予約を受け付けたほか、公用車により来館した際の駐車場料金を免除（令和6年度612件、457,400円相当）するなど、市への協力を行った点は評価できると考え「4」とした。